

2022年度(令和4年度)子どもが主体となった体力向上計画

福山市立大津野小学校

2022年度(令和4年度) 新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	64.29	28.57	3.57	3.57
女子	58.06	32.26	9.68	0.00

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	64.29	35.71	0.00	0.00
女子	83.87	12.90	3.23	0.00

運動やスポーツをどのくらいしていますか
(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日 くらい	月に1~3日 くらい	しない
男子	60.71	32.14	7.14	0.00
女子	35.48	51.61	6.45	6.45

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	15.68	20.50	36.46	42.86	50.61	9.17	163.11	23.46	56.39
	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
女子	16.19	19.84	41.26	41.03	38.90	9.50	149.13	13.94	57.71

県平均値(R4)かつ全国平均値(R3)未満

重点課題および要因

情意面

○男子の約7%が、運動やスポーツをすることに対して否定的評価をした。
○女子の約10%が、運動やスポーツをすることはやや嫌いと回答した。
→体育の授業で、「できた。」「楽しい」の経験が少ないことが要因である。

体力面

・男女共に握力が県平均値かつ全国平均値未満である。
→鉄棒や雲梯を使った運動をする機会が少ない。
・女子の20mシャトルランが県平均値かつ全国平均値未満である。
→長距離を走る機会が少ない。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・児童に目標をもたせ、ルールを工夫したり、肯定的な声かけをすることで、達成感を味わわせ、意欲につなげる。
- ・年間を通して、授業の導入に、柔軟運動、グーパー運動を取り入れる。
- ・課題がある種目の強化月間を設定し、運動に取り組むことを通して、達成することができた児童に対して肯定的評価をする。
- ・カリキュラムマップに各学年ごとの課題につながる単元を、色を分けて明記し、授業の中で継続して体力向上に取り組む。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・「体育委員会と遊ぶデー」や体力向上の時間である「もりもりタイム」を活用することで、主体的に運動に取り組む児童を増やしたり、運動量を確保したりする。
- ・パービー運動、V字バランス、カエル逆立ち、アンテナ、柔軟運動を家庭学習に取り入れる。
- ・教職員で体育研修を行い、効果的な指導方法や重点課題に対しての取組を実施し、体育科授業の充実を図る。

2023年度(R5年度)の 重点目標値

- ・握力を県平均値かつ全国平均値未満にする。
- ・「運動やスポーツをすることが好き」「体育の授業は楽しい」の児童質問紙に対して、肯定的評価をする児童の割合を90%以上にする。